


# 議会だより

  
奥出雲町

消防機能を一層強化!

 奥出雲町役場 仁多庁舎



新消防車両交付式（阿井分団配備）

  
No.57  
R2年4月

## 注目記事

- 横田高校に学習拠点施設 ……2
- 予算をチェック! ……4
- 11人が町政のここを聞く ……9
- 木次線存続をJRに申入れ ……20

一般会計 **135億4,000万円** (対前年度比

6億4,000万円減、△4.5%) **賛成多数で可決**

令和2年度の主な新規・拡充事業



**生活道路の整備**

郡三成線、川東雲崎線ほか全13路線

**5億5,852万円**



**地域学習拠点施設整備**

横田高校と連携し地域学習拠点施設(研修室、宿泊室など)を整備  
町外から訪れる高校生などと地域住民との交流促進

**2億7,005万円**



**堆肥散布車更新**

仁多堆肥センターで使用  
する堆肥散布車購入

**1,973万円**



**サイクリングターミナル  
設備改修**

R3年度改修に向けた  
測量・設計費

**1,123万円**



**総合計画策定**

総合戦略と総合計画を一体化  
した計画策定

**868万円**



**特用林産施設整備**

坂根舞草直売所のトイレ、  
駐車場周辺環境整備

**1,000万円**

歳出予算の内訳



3月定例会が3月3日から19日までの17日間の会期で開催されました。  
新年度にあたり町長の施政方針説明があり、提出された議案を慎重審議した結果、すべて原案どおり可決しました。  
一般質問では、11人の議員が町政全般について、2日間にわたって執行部と活発な論戦を交わしました。

(主な特別会計)



(水道事業会計)

**横田浄水場改良**

移動改築し浄水機能を強化

**3億1,943万円**

事業名	予算額	採決結果
奥出雲病院	20億6,121万円	全会一致で可決
国民健康保険	14億4,951万円	賛成多数で可決
後期高齢者医療保険	4億3,051万円	全会一致で可決
介護サービス	3億7,591万円	全会一致で可決
介護老人保健施設	3億6,222万円	全会一致で可決
水道	7億1,450万円	賛成多数で可決
公共下水道	3億2,180万円	賛成多数で可決
農業集落排水	5億4,720万円	賛成多数で可決
合併処理浄化槽	1億7,940万円	賛成多数で可決
仁多発電	1億 266万円	全会一致で可決

# Check 予算をチェック！質疑

上程された各会計の当初予算を、予算特別委員会と総務経済、教育福祉の各常任委員会にて4日間わたり詳細に審査しました。その中から一般会計審査で行われた質疑の一部をお知らせします。

## 令和2年度 一般会計予算

予算をチェック

### 《議会ICT化事業》

224万円

**内田雅人委員** タブレット端末はWiFi環境のものでしか使えないのか。どこでも通信できるのか。

議事事務局 予算の関係でWiFi環境のものでしか使えない仕様となった。

※WiFi(ワイファイ)：無線通信

### 《たたら灯支援事業》

270万円

**大垣昭子委員** ガバメントクラウドファンディングによるたたら灯運営支援の内容は。

企画財政課長 田んぼに設置するLEDライトの購入費として支援する。

**村野明利委員** ガバメントクラウドファンディングによるふるさと応援寄付は今後も積極的に活用していくのか。

企画財政課長 今後は事業を実施する方と一緒に、資金を調達する方法として考えていく。

### 《農地情報公開システム整備事業》

154万円

**田食道弘委員** 地図情報システムから農地情報システムへの移行とあるが具体的に説明を。

農業委員会事務局 誰でもいつでも全国から希望する農地を、筆ごとに様々な条件で詳細な情報を検索できるようにする。

### 《高性能林業機械導入事業》

600万円

**土屋武雄委員** 高性能林業機械導入補助金はどのような機械購入か。



ハワフルな送材力と優れたクラッパル性能は日本の急峻な地形で威力を発揮します

一台三役で活躍するグラブプロセッサ・ハーベスタ

農林土木課長 森林組合の機械購入に対する補助金だ。大型重機の先端に装着して使用する林業機械で、木の伐採現場において枝払いや玉切りなどの造材作業機械である。

### 《地域学習拠点施設整備事業》

2億7,005万円

**石原武志委員** 施設の目的と規模は。

教育魅力課長 横田高校と地域が連携した交流学習の拠点となる施設整備で、紫雲寮に隣接して計画している。4人部屋8室の宿泊室・厨房・多目的ホール・研修室などを備えた施設である。

### 《まちひとしとセンター事業》

832万円

**内田雅人委員** 後継者がいなくて閉店する店が増えていく。閉店せざるをえない人と店を出したい人とのマッチングなど、リターナー者だけでなく、町内に住んでいる人の需要も把握して取り組めないか。

地域づくり推進課長 事業の廃止や誰か継承しないかの相談も多くある。今後それをどのようにマッチングしていくか検討の余地はあると考える。

### 《児童生徒医療費》

2,250万円

**内田雅人委員** 高校生まで医療費を無償化すれば、いくら増額になるか。横田高校の魅力化にもつながるが。

福祉事務所長 国保から高校生の医療費を推計すると1,000万円の増額とされている。子育て支援も様々な選択があり、全体を考え拡充を検討している。

### 《可燃ごみ広域処理検討事業》

578万円

**田食道弘委員** 調査検討業務だが今後の予定は。

町民課長 雲南市・飯南町事務組合の中に施設整備課を設け、令和4年度までに構想をまとめる予定だ。奥出雲町から職員を一人派遣する。

### 【議会だより56号 (令和2年1月発行)の訂正】

議会だより4ページ予算をチェック質疑欄の質問者に一部誤りがございました。次のとおり訂正させていただきます。  
(農地集積協力金)  
誤 内田精彦委員  
正 内田 勇委員

### 《地域おこし協力隊募集》

107万円

**内田 勇委員** 地域おこし協力隊の現状と定住の状況は。

地域づくり推進課長 令和元年度の隊員は6名だが、年度末に3名卒業する。新たに募集し合わせて10名となる予定。定住の状況は、これまで20名が隊員となりうち10名が定住しており、定住率は50%である。

### 《防災士養成事業》

40万円

**田食道弘委員** 防災士養成にあたって、どのように募集していくか。

総務課長 23人の養成を予定している。消防団や自治会をとおして募集していこうと考えている。

### 《横田高校魅力化コンソーシアム事業》

355万円

**田食道弘委員** 横田高校魅力化コンソーシアム事業の概要は。

教育魅力課長 横田高校魅力化と各地区の活性化をつなげるため、高校行政、住民が一体となって取り組む共同体制である。担当マネージャー



屋内型あそび場整備をする鳥上幼児園

予算をチェック

# 副町長に総務課長を選任同意

可決

## 新型コロナウイルス感染症対策

### 令和元年度 一般会計補正予算（第4号）（第5号）

補正前予算額	①	146億8,800万円
4号補正予算額	②	1億8,900万円
5号補正予算額	③	500万円
補正後予算額	①+②+③	148億3,200万円
		※対前年同期比……98.4%

### 主な歳出の概要

#### 病院事業 特別会計負担金



1億9,200万円  
周産期医療や小児医療などの環境維持のための負担金

#### 新型コロナウイルス感染症対策費

452万円

- 商工事業者の借入金返済繰り延べに対する利子補給
- 放課後児童クラブの利用者への助成
- 休校期間における学習教材の購入費
- 休校に伴う学校給食材料費の補填

#### 小中学校通信設備整備



1億1,867万円

ICT教育充実のための無線LAN整備 5年かけて一人一台のパソコン設置

#### 担い手確保・経営強化支援

2,814万円

認定農業者が実施する米穀乾燥調製施設の整備への補助

#### 令和元年度 特別会計補正予算

国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	4,001万円
後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算（第2号）	805万円
奥出雲病院事業特別会計補正予算（第2号）	1億9,200万円
すべて全会一致で原案可決	

3月定例会初日に4号補正予算が、最終日に5号補正予算が上程され可決されました。主な歳出の概要は左記のとおりです。

補正予算

全会一致

○雲南市・飯南町事務組合と奥出雲町による可燃ごみの処理施設に係る調査及び研究に関する事務の事務委託に関する規約の制定  
雲南圏域で可燃ごみを広域処理するための調査と研究を行うため、規約を定めるもの。

全会一致

○町営住宅管理条例の一部改正  
民法の改正に伴い連帯保証人2人を1人に改正する。

全会一致

○町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例制定  
町に対する損害賠償の一部免責に關し、必要な事項を定めるもの。

全会一致

○会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当支給条例の一部改正  
島根県人事委員会勧告を受け、会計年度任用職員の報酬等を増額する。

全会一致

○特別職及び教育長の給与等に関する条例の一部改正  
給料を町長は10%、副町長及び教育長は5%減額を継続するもの。

#### 条例の制定

#### 規約の制定

全会一致

○横田農畜産物展示販売センター、レストランピオーネ  
指定管理者（株）O.R.C  
令和2年4月1日から3年間

全会一致

○船通山研修宿泊施設  
指定管理者（株）奥出雲振興  
令和2年4月1日から3年間

全会一致

○過疎地域自立促進計画の一部変更  
仁多堆肥センター施設整備事業、伝統的工芸品製造設備整備事業、サイクリングターミナル改修事業、奥出雲振興出資事業を追加する。

#### 計画の変更

○公の施設の指定管理者の指定

全会一致

○稲田高校線支線1号  
横田高校寮への進入路  
稲原、58m

#### 町道路線の認定

全会一致

○田畑線  
八川・三森原地内、506m

全会一致

○人権擁護委員の推薦  
郡 久井 一（再）  
大馬木 森山 潔（再）  
大馬木 廣田 孝子（新）

#### 同意

全会一致

○副町長の選任同意  
高尾 藤原 努（総務課長）  
奥原副町長の退任に伴い新たに選任するもの。  
任期 令和2年4月1日から4年間



旧ピオーネ内で株O.R.Cさんが展開するグランピング



新 藤原副町長

# 討論

## 1) 令和2年度一般会計予算

賛成

田食道弘議員  
消費増税、暖冬、新型コロナウイルスの流行で町民の暮らしは深刻な危機にある。町民の暮らしと福祉を守り暮らしを圧迫する国政に対する防波堤の役割を果たすのかよく問われている。この予算では不十分である。

賛成

土屋武雄議員  
普通交付税削減、基金の減少を踏まえ、事業の取捨選択による構築と、国の補助事業を積極的に活用しながら総合戦略関連事業を2億9千万円増額している。新規に教育や子育て支援事業を拡充し、低迷の続く町内景気や人口減少問題に対応した予算配分がなされている。

## 2) 令和2年度国民健康保険事業特別会計予算

賛成

田食道弘議員  
町民の負担能力にに応じて、高くつけない国保税を引き下げることで自治体の責務だ。今なお近隣の市町村より高く、被保険者一人当たりの基金保有額は県内で3番目に多い。さらなる負担軽減に取り組むべきだ。

賛成

藤原和範議員  
基金の取り崩しは最終年度となり、3年間で予定を上回る1億1,200万円になるとされ、負担軽減と国保財政の健全運営でバランスのとれたものとなっている。保健事業費を増額し健康づくりの力を入れた予算だ。

## 3) 令和2年度公共下水道事業特別会計予算 6) 令和2年度水道事業会計予算

賛成

石原武志議員  
将来的に健全な施設運営を行い、高い給水原価に国の助成受給を確保するためであり、近隣市町の使用料金と比べても安い。10年をかけた段階的改正で配慮がされている点等から、改正案は受け入れるべきと考えます。

賛成

川西明德議員  
料金値上げを回避する手立てが取られていない。水道事業も下水道も施設維持には多額の費用がかかる。水道は憲法25条生存権を保障する福祉事業だ。国への要望活動が充分になされておらず、町の責任が果たされていない。一般会計からの繰入れを減らしたことに赤字の原因がある。

# 一般質問 町政のここを聞く



川西 明德 議員

## 質問 25年問題の病院政策は

病院事務局長 安心して療養できる 仕組みづくりが重要課題

質問 全国の公立病院の8割近くが赤字となっている要因は、政府の医療費削減政策によるものか。  
奥出雲病院の現状認識と課題は何か。

病院事務局長 第一の課題は、医師の確保。H16年からの医師研修制度で都市部、大病院に医師が集中するようになり、奥出雲病院の医師が減少したことにより、患者数減少で経営悪化の要因になった。第二に社会保障費の抑制により、長期入院の治療費減額で経営悪化の要因になった。

質問 奥出雲病院は団塊世代の高齢化にどんな病院政策を計

画しているか。  
能の検討をしている。

病院事務局長 最重要課題の医師確保は島大医学部、雲南市立病院との連携をさらに強化する。病床再編は、医療より介護的状态が増加しているため、医療ニーズと介護ニーズの複合化に対応する病床再編や病床機能の検討をしている。

## 人工菌床椎茸栽培について

質問 町の人工菌床椎茸栽培は、地方自治体の地域農業支援として、第三セクター経営として中山間地農業振興の重要項目になった。  
菌床椎茸を推奨した農水省、林野庁、県に再建支援を求め

べきか。

町長 人工菌床椎茸栽培は、人口定住、地域振興に多大な貢献があった。生産農家、会社社員の生活を守るためにも、産地再生に経営改善と椎茸振興を確実に進める。

## 仁多米の継承について

質問 仁多米をどう後世に継承するのか。  
町長 米の直接支払交付金を国に制度復活を要望している。中山間地域等直接支払交付金第五期対策で、県内では奥出

## 教育行政のあり方について

質問 教育行政のあり方の見解は。  
教育長 極限の集中の防止、中立的な行政運営を担保する。教育の自主性や独立性を守り責任を果たす。

質問 学校再編方針の再検討を求められ



質問の一部を要約してお伝えします

質問時間は、一人30分以内  
今回は11人が登壇しました。

## 採決の結果は？

議案のうち、賛否が分かれた議案の採決結果は以下のとおりです。

件名	結果	田食道弘	糸原壽之	景山利則	土屋武雄	内田雅人	石原武志	藤原和範	川西明德	内田勇	内田精彦	村尾明利	大垣照子	岩田明人
1) 令和2年度一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	欠
2) 令和2年度国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	欠
3) 令和2年度公共下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	欠
4) 令和2年度農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	欠
5) 令和2年度合併処理浄化槽事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	欠
6) 令和2年度水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	欠

議長（藤原和範）は採決に加わりません。 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席

### 質問 新型肺炎、町内で発症の場合は

#### 町長 新型インフルエンザ対策に準じて対応



石原 武志 議員

**質問** 町内で感染者が発生した場合の対応策や受け入れ体制は。

**町長** 町内全戸にマスクを配布など、十分とは思わないが最大限の努力をした。一刻も早い安定供給を望む。

**質問** マスクや消毒薬の不足に対し行政としての対応は。

**町長** 町内全戸にマスクを配布など、十分とは思わないが最大限の努力をした。一刻も早い安定供給を望む。

**質問** 世界的大流行のコロナウイルス、現時点での対応策は。

**町長** ポスターや回覧文書による啓発、ジョーホー奥出雲による放送や町のホームページにより感染予防の周知を図っている。小中学校の臨時休校、イベント等の中止を決定した。



「小さな拠点づくり」で話し合い—馬木地区

**町長** 現在6地区で取り組みが行われ、来年度新たに阿井地区が参加予定だ。集落単位では地域運営が困難と危惧される中、新しい仕組みづくりを試行している。身近な課題を共通認識と共感を持ち、取

**町長** 社会教育の質の確保と地域活動支援を担う公民館である。本町にとつてどのような運営形態が将来的に最も良いか、地域や教育委員会、関係機関と意見交換を進め方向性を出したい。



買い物サロンでの賑わい—三沢地区

#### 小さな拠点づくりについて

**質問** 各地区で取り組まれている活動の指導体制について、目標と方向性はどの様か。

**町長** 現在6地区で取り組みが行われ、来年度新たに阿井地区が参加予定だ。集落単位では地域運営が困難と危惧される中、新しい仕組みづくりを試行している。身近な課題を共通認識と共感を持ち、取

**町長** 観光などの交流人口から地域と多様にかわりを持つ関係人口への拡大が求められている。積極的に支援をしたい。

### 質問 我が町の存在価値アピールを進めては

#### 町長 町民皆が大使となってPRを



土屋 武雄 議員

**質問** 本町のアピール事項を〇〇大使とついてもうような書ききをつけて委嘱し、魅力のPRをより一層推進する必要があると思うか。

**町長** 10万円以上のふるさと応援寄付を頂戴した方をふるさと応援大使に委嘱していたが、額、人数共に多くなり、現在は行っていない。

**質問** ふるさと大使の名刺をつくりPRをしてもらったら。

**町長** 大使への任命は奥出雲町と深くかわりのある方で、本町を愛し、積極的にPRしていただければ考える。まずは、私を初め町民の皆様方が、奥出雲町のふるさと大使となって、PRを機会あることに行っていたらいい。



出雲市の子供の名刺(表面)

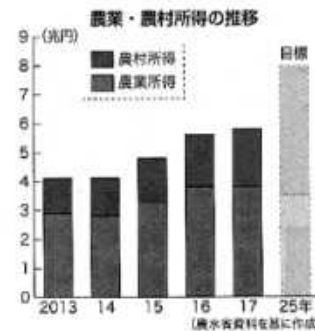
**質問** 目立つキャラクターとして、横田高校生提案のオオムラサキのデザイン化はどうか。

**町長** 本町では、すさのおくんといなたひめちゃんをキャラクターとして使用し、日本農業遺産のPRを行うためのロゴマークデザイン募集を行っているところだ。

**町長** 国は平成25年に地域の活力創造プランを決定し、農林水産業を強くし、国産政策と国土保全といった多面的機能を発揮するための地域政策を車の両輪として、所得を今後10年で倍増を目指しな

**町長** 国は平成25年に地域の活力創造プランを決定し、農林水産業を強くし、国産政策と国土保全といった多面的機能を発揮するための地域政策を車の両輪として、所得を今後10年で倍増を目指しな

#### 農業農村の所得倍増計画の現状は



さらに、農業の競争力強化のため、農業競争力強化プログラムを決定し関連法案が成立した。このため、今後国に対して、柔軟な施策の展開と農林畜産業の振興、農山村の持続的な発展への支援を強く要望する。

# 質問 整備が待たれる斐乃上荘

町長 今後の検討会で整備方針をまとめる



藤原 和範 議員



整備が待たれる斐乃上荘（日本三大美肌温泉）

**質問** 斐乃上荘のあり方検討会の進捗状況は。  
**町長** これまで検討会を2回開催した。現在の経営事情を踏まえ、コンサルタント会社に依頼し経営分析を実施した。さまざまな課題提起があった。

**質問** 斐乃上荘の強みや観光客に愛される施設であるためには、どのような形態が良いのか。現在の宿泊事業、レストランの食事について、運営面や維持管理を含めて議論し、将来的に持続可能な施設のあり方等について話し

合った。  
また、長期滞在できるように湯治場の利用できる施設としての提案があり、新年度より湯治場プランとして試行的に取り組み。  
**質問** 施設の老朽化が進んでいるが、これからの整備計画は。  
**町長** 旧館は昭和49年に、新館は平成4年に建設され25年以上の年数が経っている。特に、旧館は機械設備の修繕費が増加している状況である。



Uターン相談会の様子（東京港区ビッグサイト）

このような中で、新年度から提案のあった湯治場の利用を試行的に実施し、お客様のニーズや経営面などを踏まえて、今後はあり方検討会で具体的内容をまとめ、整備したい。

**質問** 年々人口減少が進む中において、奥出雲町を心のふるさとに持つ子供や親戚などに対し、積極的な情報提供を図り、より強くパイプを築くよう、各家庭から情報発信する取り組みを企画し呼びかけては。  
**町長** 現在高校を卒業し進学する生徒に学生登録をしていたが、奥出雲町の求人情報を年2回程度送付している。また、

# 質問 幼児教育・保育の無償化の実施を

町長 保育体制の充実と処遇改善が必要

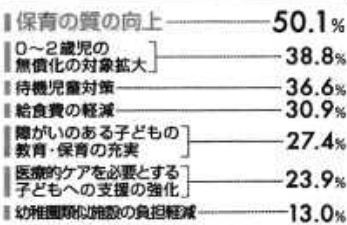


内田 勇 議員

**質問** 昨年10月1日から実施された幼児教育・保育の無償化の実施を。

**町長** 3歳から5歳児の副食費については、新たに町独自で全額補助している。10月以降の半年間の無償化による軽減額は約2,170万円、副食費負担が約460万円で、純軽減額は1,710万円となる。

## 今後取り組んでほしい政策（複数回答）



**質問** 国が無償化したための年間3,400万円の軽減分ですべての0歳から2歳児の無償化の実施を。

**町長** 0歳から2歳児の保育料を無償化するに1,600万円余の財源が必要で、将来的には検討したい。

**質問** 保育の質の向上のための処遇改善が必要だ。

**町長** 保育体制の充実と保育士の処遇改善が必要であり、保育人材確保については、奨励金制度を実施し取り組み。  
これまでの処遇改善に加え、令和2年度からキャリアアップによる処遇加算を福祉会で検討されている。

**質問** 給食費の負担軽減を求める声が多い。

**町長** 3歳から5歳児の主食費については、保護者に負担していただいているが、児童手当や、児童扶養手当を活用して欲しい。

## 畜産の振興について

**質問** 繁殖雌牛の増頭には1頭当たり17.5万円、50頭未満の畜産農家には、1頭当たり24,6万円を交付する奨励金が予算化されている。増産体制の整備はどうか。  
**町長** 増頭意欲のある畜産農家や新規就農希望者に対する支援として積極的に活用していきたい。  
現在、畜産クラスター事業を活用した

**質問** 和牛の増産体制の整備のため、町有放牧場の整備や増設が必要だ。  
**町長** 県の新規事業として放牧再生支援事業が創設されるので、放牧場の再整備を行い畜産農家に利用していただきたい。

## 企業版ふるさと納税制度の活用について

**質問** 企業版ふるさと納税制度が4月から5年間期限が延長され、税額控除割合が最大で9割軽減され、自治体の力量と知恵が問われる。  
**町長** 企業からの寄付が増えるよう力をそそいでいきたい。

## 故郷回帰呼びかけへの取り組みを

**質問** 年々人口減少が進む中において、奥出雲町を心のふるさとに持つ子供や親戚などに対し、積極的な情報提供を図り、より強く強いパイプを築くよう、各家庭から情報発信する取り組みを企画し呼びかけては。  
**町長** 現在高校を卒業し進学する生徒に学生登録をしていたが、奥出雲町の求人情報を年2回程度送付している。また、

## 質問 総合計画、中期財政計画に図書館建設はあるのか

町長 計画にはおりこんでいる  
早期に実現を図る



内田 精彦 議員

町長 町外からの子供たちと地域の皆様との交流、学習拠点として施設を整備し、横田高校生にも利用いただく考えである。県立高校の寮は本来、県で整備するものだ。町としては宿泊機能もついた交流

### 地域学習拠点施設整備について

学習の場の拠点を整備するものである。



地域学習拠点施設建設予定地  
建物は紫雲寮

町長 設立3年目を迎える木次線の情報発信事業として、おきいずも女子旅の企画列車により、沿線の地酒や食を提供したイメージアップにつながる取り組み。駅カードの配布による観光誘客、通勤乗車の呼びかけや小学校

### 木次線利活用について

町長 本年度は事業の継続と新たに沿線の魅力を知ってもらい、訪れてもらうツールとして、木次線マップの作成、山陽方面の代理店に向け、普通列車を活用した旅行を企画するよう考

質問 図書館の建設は、総合計画、中期財政計画ではどうなっているのか。

町長 総合計画には、複合的な機能を持つ図書館の整備、多種多様な学習機会を提供する。中期財政計

画にもおりこんでいる。図書館の整備の高いものが非常に重要であるが、他の社会教育施設の耐震化等の課題を解決しつつ早期に実現を図るとともに既存の図書室の充実を図る。

### テレビ電話について

質問 高齢者にコールセンターから声かけを行い、すでに10年経過したがどのように考えているか。

町長 利用者の意向調査では、不安や寂しさが和らいだ方が56%、安心、楽しい方が83%となっている。高齢者の方への安全な生活支援として運営、管理をしていく。



コールセンターからの声かけ

## 質問 次世代につなげる戦略的な総合計画を

町長 大変重要であり提案を反映したい



内田 雅人 議員

質問 令和2年度に策定する新たな総合計画は非常に重要な手順と組織は。

町長 審議会を立ち上げ調査や審議を行う。まちの将来像を示す重要な計画であり、町民の声を広く聞いて策定に取り組む。

を町民と外部に発信し、0歳から4歳の減少を止めること、15歳から64歳の増減を±0に持っていくこと、を戦略にしたい。

町長 戦略的な人口対策は大変重要だと考えている。社会全体で子育てを応援する仕組み作り、雇用の確保、奥出雲町の良さを分かりやすく発信など、メリハリのある計画を策定していきたい。

質問 戦略的な人口対策を盛り込まなければならぬ。首都圏も0歳、64歳の人口はもはや減少に転じ、高齢者が大幅に増えている。医療介護の体制整備がいつまでも追いつかず、その中では子育て環境の改善も容易ではない。もはや若者の憧れの大会は幻想となり、鳥根の方が生活しやすい事実がある。

質問 10年よりもっと先を見据えたまちの将来像を描いて、総合計画を作ることが大切だ。人口が半減する中で20年、30年持続していくまちの形を作らなければならぬ。

町長 総合計画は次世代につなげるよう先を見据えて策定する。人口減少が進む中、新しい技術を活用した利便性の高い生活を実現する必要がある。積極的な情報収集し、計画に反映していきたい。

医療、行政に最先端技術を積極的に取り入れ、若者や子どもたちにつなげる計画を。

### 特定地域づくり事業推進法の早期の活用を

町長 採用される職員も事業者にもメリットが大きい。町として将来にわたって支援が必要となり、公益性や優先度を検討する必要がある。

町長 採用される職員も事業者にもメリットが大きい。町として将来にわたって支援が必要となり、公益性や優先度を検討する必要がある。商工会と連携してニーズを把握し、どの業種を支援していくかの判断が必要になる。



今年度で終了する総合計画  
次世代につなげる新たな総合計画の役割は大きい





質問

### 三重苦の町経済に支援を

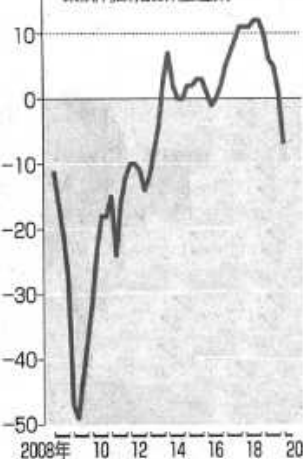
町長

#### 国の支援策・制度を活用し対策をすすめる



田食 道弘 議員

中小企業の景況感の推移  
※各年四半期ベース、日銀短観の業況判断指数、全産業



消費増税、新型コロナ感染拡大で景況急降下

**町長** 直接的な表現は行っていないが、さまざまな施策の説明の中で触れていた。消費増税については今後キャッシュレス決済導入や国の支援策を活用し、商工会と

**質問** 本町の経済は消費税の増税、暖冬、新型コロナの三重苦にさらされている。町長施政方針では全く言及されていない。町民の切実な実態を認識しているのか。

町長 経済対策では来年度予算の町単独普通建設事業費を前年比1割増とし、農業についても国の制度を積極的に活用していく。

連携をとって個人消費喚起、町内事業者の活性化に努めたい。地球温暖化については再生可能エネルギーなどを活用した生活構造実現により、地域の魅力をさらに高めたい。

**質問** 昨年度より3年間かけて国保基金を取り崩し、国保税を引き下げているが、昨年度末でも3億3,910万円と基金保有額はまだまだ多すぎる。被保険者一人当たりでは県下で3番目に多い。この現実をどう考えるのか。

**町長** 昨年度末は基金残高のピークで被保険者一人当たり12万6千円あったが、来年度末には被保険者一人当たりで10万円まで減少見込みだ。以前、市町村が被保険者として運営していたので、運営方法や給付水準の違いなどが反映されているからだ。

**質問** 引き下げ最終として来年度にさらに基金を取り崩し、現在の基金保有ガイドライン(営業)まで下げても、依然として県下最上位クラスの基金保有額のままとなることは間違いない。高すぎるガイドラインそのものを引き下げ、さらに基金を取り崩し、国保税引

き下げを継続すべきだ。

**町長** 平成6年の国民健康保険中央会、国保財政運営のあり方に関する検討会最終報告によると、本町の規模の場合、保険給付費の約30%が必要となる。本町の基金ガイドラインは保険給付費の3か年平均の25%としており、これに近いものだ。

#### その他の質問

島根原発再稼働、小学校再編協議、臨時休校の設置者判断、発達障害・不登校の子どもたちへの特別の手立てについて。

質問

### 二種兼業農家・家族型農業農家の育成を

町長

#### 既存の制度を活用して生産意欲を



糸原 健之 議員

**質問** 今後さらなる仁多米の味を良くするための方策は。

**町長** 近年異常気象と言われる気候が続く、作柄が安定しないなかでは、土づくりが重要な要素となっている。それには堆肥の安定的な供給体制を構築していく。気温、水温等の観測データの提供も今後検討する。また、農家個々の取り組みとして、適期の刈り取りも大変重要な要素であると考えている。

**質問** 全耕地面積の大半を作る二種兼業農家及び家族型農業農家の育成を。

二分の一以内の個人配分と共同取り組みを活用されたい。そして農業遺産を活かしブランド化も推進して、生産意欲の向上につなげていきたいと考えている。

**町長** 耕作放棄地が増えるなかで、農業機械、水管理、防除、畦畔の草刈りなど労力と経費の掛かる共通の問題がある。集落営農による共同機械利用、共同防除を推進することで二種兼業農家や集落内の農家が安心して農業ができるように支援していく。



関西奥出雲会 総会の関西在住者と本町からの皆さん

**質問** 関係人口をどのように考えているか。

**町長** 移住せず地域の人々と多様に関わり、地域を応援する方であり、担い手が不足している課題に対し、地域振興に貢献する新たなキーパーソンであり新たな

担い手であると考えている。

**質問** 本町の今後の施策にどのように活かしていくか。

**町長** 本町を訪れていただく交流人口からより深い関わりを持つていただく関係人口へと発展し、移

#### 関係人口を増やし一層の活性化を

住していたら定住者となつていただく施策を考えている。

それには、それを必要とされる地域の方のニーズの把握が必要であり、その為に、関係人口と地域双方を結びつける支援やNPO法人への支援を行っていく。

**質問** 本町出身者会との関係人口の構築を目標さないか。

**町長** 出身者会との幅広い交流については、町としては出身者会へ提案ということと伝える。

#### その他の質問

他にきりり輝く地域づくり事業助成金交付期間の延長について。

## 木次線の存続を申入れ

奥出雲町議会・雲南市議会木次線活性化促進議員連盟は去る3月24日、糸原徳康、高橋雅彦両島根県議会議員に同行していただき、JR米子支社を訪問し、木次線存続の申入れをおこないました。

冒頭、トロッコ列車の運行期間の延長等雲南地域への観光振興の協力にお礼の意を伝え、次のことを重点にお話ししました。

- ①トロッコ列車の後継車両の整備
- ②観光列車「あめつち」の木次線への乗り入れ
- ③利用者にとって利便性の高いダイヤ編成

席上、和副支社長から、「申入れについてはできるだけ要望に沿い、地域振興に協力したいと考えている。トロッコ列車の後継車両については代替え車両が見つからない」との説明を受けました。



和副支社長に申入れする雲南市議員連盟深田会長



## 奥出雲町議会タブレット端末導入へ

議会活性化特別委員会では去る1月24日、議員全員を対象にタブレット端末研修会を開催しました。

今日全国では200以上の議会がタブレット端末を導入し、議会活動の効率化やコスト削減で住民サービスの向上を図り、特に災害時の連絡手段には効果を発揮することを認めており、さらに導入する議会が増えています。

奥出雲町議会でも、議会議事録の早期公開の要望に応えるためや資料に基づいた地域と議員との信頼度が高いコミュニケーションのため、議員活動の効率化やコスト削減で住民サービスの向上を図るため、令和2年度から導入を予定しています。



## たたらブランド推進事業

事業費 1,233万円

和鉄の新製品作りやたたらブランドの認証事業のその後を追ってみたい。

たたら製鉄に関連した伝統産業の再生支援や観光振興事業で、たたらを中心に奥出雲の仕事づくりに取り組んでいます。現在18品目の作品が認証済で新たな顧客開発と販路開拓の一助を担っています。なかでも地元小林刀匠と鍛冶屋桶とのコラボ企画「和包丁」は好評を得ているようです。

さらに、同ブランドの象徴となる現代刀の新たな可能性に挑戦し、デザイナーとの協業で取り組まれた黒刀の製作は昨年度完成。黒染めの刀「月下の笹」と命名され各方面から注目を集めています。



黒い笹の葉をイメージ「月下の笹」(Moon sasa)  
黒い細身の刀身は日本刀のイメージを一新。他のたたらブランドと合わせ必見の価値あり!

ありゃあどげなつた?

名前の由来とその全様

鬼の舌震や棚田を巡った時に見た黒い笹の葉の色を表現したもので刀身は93センチありエレガントで繊細なイメージです。直刃構成の刀で右側面に「しのぎへ彫り」が設けられ非対称で笹の葉のデザインを表現しています。

刀匠 高田義興氏  
デザイナー 島村卓美氏

ホットな話題

☆青少年向けコミック「鬼滅の刃」は主人公が黒刀を使用し鬼を退治するというシナリオで人気沸騰中。アニメ放映もあり、全国の熱心なファンが殺到中とのことです。

「奥出雲たたら展」

☆たたらと刀剣館での「奥出雲たたら展」は5月10日まで延長。市民の方は期間中は入場料無料でこの黒刀をはじめ、たたらブランド商品や日本刀展などが楽しめます。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

## 小学校再編方針の修正

3月定例会最終日の本会議にて、教育長から小学校再編方針の修正について説明がありました。修正された点をお知らせします。

学校再編方針の修正点

再編時期の変更

令和7年4月を目安に協議を行う

校区別の意向の取りまとめ時期  
各校区で統合の意向を令和4年3月までに取りまとめる

校区別協議会代表者会議の開催  
各地区の代表者による協議と情報共有

新仁多地域小学校についての協議  
令和4年3月までに仁多地域代表者会議にて改築場所や学校機能を協議する

通学、放課後児童クラブの案を提示  
素案をもとに協議を行う

※詳細は町広報やホームページをご覧ください。

われら

# おくいずもん



農事組合法人  
**石原里田**

三成地区

取材したこの日は小学生や横田高校の寮生が、芝桜を植えていました。農事組合法人石原里田さんは、地区内の10haの田と1.5haの畑を管理し、耕作放棄地の再生も行っておられます。

米作りや料理教室、餅つきなど様々な活動を通して世代間、地域間交流も活発です。

米作りでは幼児園児、小学生、鳥根リハビリ学院生、町外からの一般希望者の参加があり、春の田植えから草取り、秋の稲刈りを体験。収穫の喜びが味わえると大変好評のようです。

70人ほどの集落でも何か行動を起こしていこうとスタート。「本当にできるんだらうか」という不安も、4年たった今では参加者と一緒に楽しみながらの活動になっているようです。

代表の和久利健さんは「地区に元気と自信が生まれているのが大きい」と力強くおっしゃいます。この春も石原里田地区に芝桜と笑顔が咲き誇るのを楽しみにしています。

## 議会を傍聴しませんか

○次回の定例会は

**6月**です。

○審議日程など詳しくは  
議会事務局にお尋ね  
ください。

TEL (0854) 52-2678

## 議会からのお願い

○議会や議会だよりへの  
意見、ご感想、またまちの元  
気グループを募集していま  
す。

議会事務局までお気軽に  
お寄せください。

《あて先》

〒699-1832

奥出雲町横田1037

奥出雲町議会事務局

FAX (0854) 52-2642

Eメール: gikai@town.okuizumo.shimane.jp

## 編集後記

今年もすがすがしい新緑の季節がやってきました。遅くなりましたが、新入生の皆さんおめでとうございませう。

残念ながら新型コロナウイルス感染症対策により、入学式、入園式は異例の縮小開催となりました。

明日の奥出雲そして世界で活躍することを夢見て、新たな教育環境の中で、思う存分に学び、遊び、語り、育ちあうことを期待しています。

早くも私たち町議会議員は今任期をあと一年残すのみとなりました。ラストスパートをかけ、さらに精進いたします。

(田倉)

## 議会広報特別委員会

- 委員長 土屋 武雄
- 副委員長 糸原 壽之
- 委員 石原 武志
- 委員 内田 雅人
- 委員 景山 利則
- 委員 田食 道弘